



令和5年度 山形市立西小学校学校経営グランドデザイン

校長 武田喜好

－未来への夢をもって、豊かに学び、しなやかでたくましい子どもの育成－

<目指す学校像>

- 元気なあいさつと歌声が響く、明るく生き生きとした学校
- 一人一人のよさが認められ、様々な体験を通して生きる力を育む学校
- 思いやりと心のふれ合いのある心落ち着く学校
- 地域の特性を生かし地域とともに歩み、家庭と地域から信頼される学校

学校教育目標具現化のための学校経営の重点<「けやき」の姿>を育む教育

【け】んこうでたくましい子ども
【体】いのち・尊厳を大切に

【や】さしく思いやりのある子ども
【徳】かかわり・信頼を大切に

【き】づき考え学び合う子ども
【知】まなび・誠実さをもって

－重点目標の評価項目・検証方法－

- 客観的データ
・全国学力、学習状況調査、Q-U 質問紙結果、体力測定結果 等
- 教員の自己評価、教職員評価
- 児童・保護者・学校関係者による評価(学校評価)
- いじめアンケート、本校独自のアンケート 等
- 学校に寄せられるご家庭や地域からの情報 等

令和5年度 学校が目指す経営の重点目標【キーワード】

重点1:「認め合いのある学校」

重点2:「学び合いのある学校」

重点3:「支え合いのある学校」

教職員

【1】教職員の基本姿勢

「誠実・着実・堅実」

- 個に応じた指導と支援
- 学年、学年部、上下学年の連携
- 教科担任制の推進
- 不断の研修

【2】重点達成に向けた役割担当

- ①教育課程 (教務主任)
- ②学校研究 (研究主任: 右端記参照)
- ③学び合う子育て部
＜学習指導、学力向上 等＞
- ④思いやる子育て部
＜生活指導、生徒指導、児童会 等＞
- ⑤たくましい子育て部
＜安全指導、保健体育指導 等＞
- ⑥特別支援教育推進
＜教育相談、教育支援相談を含む 等＞

重点目標達成のための具体的な取り組み

【重点1:「認め合いのある学校」の実現に向けて】

心の教育、命の教育、道徳教育の充実、健康教育、安全及び防災教育、生活習慣の確立、個や多様性の尊重、安心・安全な生活の実現 → いじめ防止対策、生活指導、教育相談の充実 等

キーワード【命】【温】

【重点2:「学び合いのある学校」の実現に向けて】

探求型学習の推進、ICT 教育の推進、読書活動の推進、体験活動の充実、特別支援教育の充実、言語環境の整備、カリキュラム・マネジメントを生かした学級経営、学年経営の推進 等

キーワード【聴】

【重点3:「支え合いのある学校」の実現に向けて】

コミュニティ・スクールの推進、ふるさと学習と地域の教育力の積極的活用、情報発信と共有、関係機関との連携 等
地域に開かれた信頼される学校 → 学校評価、各種アンケートによる意見の傾聴と反映、改善

キーワード【郷】

「根拠をもって」計画・立案 → 「思慮深く」確認・実行 → 「真摯に」振り返る・省みる

キーワード【省】

〔コミュニティ・スクールとして〕 ～ご家庭、地域と連携した学校経営を目指して～

学校経営説明の方針と手立て	西小学校 学校運営協議会	PTA 活動、地域行事等への積極的参画
○学校が見える・分かる・理解できる発信 ・年2回実施。4月のPTA総会と1月の次年度計画報告 ・学校たより、HPでの学校情報の積極発信 ・アンケートからの考察及び結果報告と改善 等	○学校、家庭、地域の課題を熟議、協働で解決 ・学校や地域の実情、子どもたちの実態等の把握 ・学校運営協議会での課題解決への協議 ・3者協働による課題解決に向けた実践 等	○子どもたちの参画意識の醸成 ・PTA、地域と連携した事業の推進 等 ・子どもたちの学習成果の積極的発信 等 ・双見学童保育クラブ、江南公民館、けやき太鼓保存会、お話ポケット、子ども育成会等との連携

学校研究

重点目標を具体化する「学校研究」

- 研究主題
「自ら考え、ともに学び合う子どもの育成」(R5 予定)
- ～つながりを大切にした教育活動を通して～
西小学校の児童に育てたい資質・能力
- 確かな知識と技能、思考力・判断力等
- 学習の進め方を自ら調整できる力
- 豊かな表現力、相手意識のある発信力
- ①学級の**カリキュラム・マネジメント**(下記参照)に即し、授業づくりと授業実践を通して「育てたい資質・能力」を育成
- ②定期的な**カリキュラム・マネジメント**評価の実施
(「計画→実践→評価→改善→計画…」の流れに沿って)
- ③育てたい力の育成につながる学習ルールや学習習慣づくりの確立
- ④N R Tや全国学テ等の結果を踏まえ、効果的な学力向上対策について検討し発信 等

令和5年度、特に力を入れる学校経営の行動視点

安全管理と危機対応体制の強化	学力の向上に向けて(学校研究の他)	「未来を拓く」学習や生活の推進	ウィズ・コロナの中での教育実践
○学校事故防止・学校の危機対応の体制強化とメールの積極的活用 ○関係機関と連携した迅速な組織的対応 ○児童の実情に寄り添う指導と支援 ○校内教育相談体制の強化と充実 等	○ICT教育の推進と充実→タブレットの積極活用 ○学習規律と家庭学習の習慣づくりの推進 ○地域の先生方をお招きしての講話や出前授業の実施 ○豊かな体験活動の充実 ○読書活動、図書館教育の充実 等	○家庭とともに「早寝・早起き・朝ごはん」 ○アウトメディアの取り組みの積極的推進 ○新聞活用教育、国際交流、キャリア教育、金融教育等の系統的・計画的推進、出前授業の積極的活用 等	○これまでの感染防止措置に変更があった場合の適切な対応の実施 ○できることを見だし、できる体制で実践 ○子どもたちの学習活動の積極的発信と参観体制の整備 等

※ 令和5年度に向けて、今後年間計画に係る教育活動や学校行事等に新たな変更等が生じた場合は、随時お知らせして参ります。

カリキュラム・マネジメントとは

各学校が、教育課程の編成(計画: Plan)実施(Do)、評価(Check)、改善(Action)を一連の流れとして計画的、組織的に進め、各学校の教育の質を高めていくことです。
本校では、このPDCAサイクルを、学校経営の他、学級経営にも生かしています。